

# ICT 活用授業報告 県立山形西高等学校 2年 情報 I

## 情報モラルと個人の責任



日 時：令和 5 年 10 月 17 日（火）13:30～14:20

場 所：2 年 2 組 HR

対 象：2 年

授業者：阿部 佳宣 教諭

### 1 主に活用した機器・コンテンツ

- ・ 1 人 1 台端末 (Chromebook) ・ 大型提示装置
- ・ Google スライド ・ Google フォーム ・ Google Jamboard

### 2 授業

#### (1) 本時の目標

普段使っている SNS などの情報システムを技術的に理解して、起こりうる被害を未然に防げるようになる。

#### (2) ICT を活用した指導過程

導入では、前回 Google Jamboard にまとめた内容を確認してディベートの準備を行う。展開では、ディベートを行いながら、自分の考えを Google Jamboard にメモし、最後にグループ内で結論を考える際に活用する。まとめではグループ毎に出した結論を全体に共有する際、1 人 1 台端末を使用して各自が確認できるようにする。

時間※1	●主な学習活動	○ICT 活用ポイント、留意点	使用機器等	情報活用能力※2
導入 5分 一斉 A1	●本時の流れの説明 ●前回話し合ったことの確認	○大型提示装置で本時の流れを説明する。 ○前回作成した Google Jamboard を見て内容を確認する。	・ 大型提示装置	A 2 ① f ステップ 1 情報の大体を捉える方法
展開 30分 個別 B4 協働 C2	●「SNS は使わないべきである」というテーマで 3 グループに分かれてディベートを行う。	○ディベートが終了したら個人で Google Jamboard に意見を出し合い、グループ内で 1 つの結論を出す。 <b>○ICT 活用ポイント 1</b> 生徒が、相手方の話を聞きながら、Jamboard に意見をまとめる。 <b>○ICT 活用ポイント 2</b> 生徒が、ディベート中のメモや記録について、個人ごとにツールを選択して個別最適な学びを行う。	・ 大型提示装置 ・ 1 人 1 台端末 ・ Google Jamboard	A 2 ① c ステップ 5 主張と論拠、主張とその前提や反証、個別と一般化などの情報と情報の関係 B 1 ステップ 4 目的に応じ、情報と情報技術を活用して、情報の傾向と変化を捉え、問題に対する多様な解決策を提示する。

まとめ 5分 一斉 A1	●それぞれのグループの結論を全体に共有する。 ●各々で今後SNSを使用する際に注意すべきことを考え、Googleフォームに回答する。	○事前アンケートとの比較を行い思考の変化を確認する。	・大型提示装置 ・1人1台端末 ・Google フォーム	
-----------------------	---	----------------------------	------------------------------------	--

※1 アルファベットや数字の記号は、文部科学省「学びのイノベーション事業報告書 学習場面に応じたICT活用事例」に基づく表記を示す。

※2 アルファベットや数字の記号は、文部科学省「【情報活用能力の体系表例（IE-Schoolにおける指導計画を基にステップ別に整理したもの）】（令和元年度版）全体版」に基づく表記を示す。

### 3 ICT活用ポイント

#### ICT活用ポイント1 B4 個に応じた学習 C2 協働での意見整理

グループ全員で一つのGoogle Jamboardを共有し、一人ひとりが考えを出し合いながら結論をまとめる。Google Jamboardを用いると短時間で意見の共有ができる。また、クラス全体に共有することで、他のグループの様子や考えに触れることができ、思考を深めることができる。



#### ICT活用ポイント2 B4 個に応じた学習

ディベート中にメモを取る場面や、学びの記録を残す場面では、1人1台端末を用いてメモをするか、手書きでメモをするかを生徒が自ら方法を選択している。端末を「文房具」と同様に捉えて情報活用能力を育成することは、GIGAスクール構想の目指す姿である。

